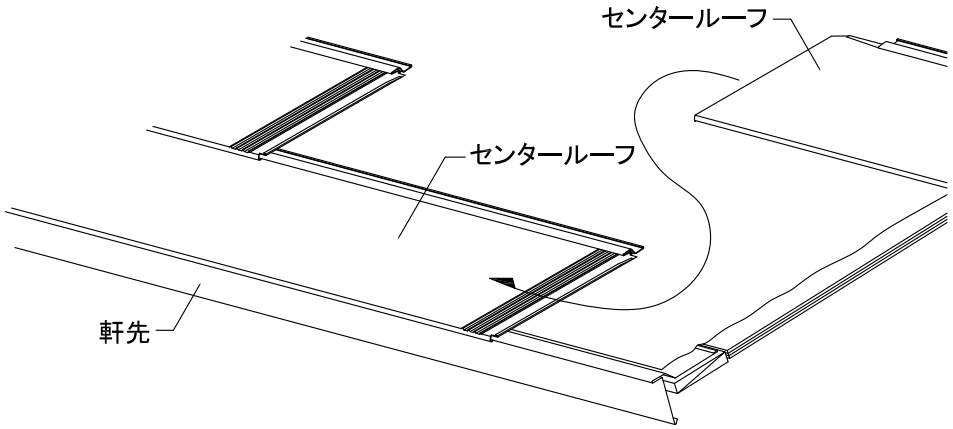
横暖ルーフ	工 法	下 地	構造
	新築	耐水合板	木造

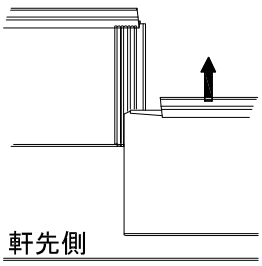
4）本体のつなぎ方

○センタールーフ本体は左から右へ葺いていきます。また本体どうしのつなぎは重ね合わせのみです。



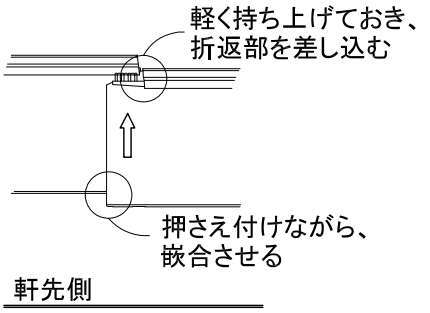
○つなぎの下になる本体を施工後、図1のように施工してください。図1で施工できない場合は図2のように施工してください。

図1



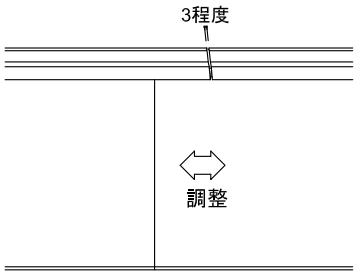
つなぎの上になる本体を下の本体にかぶせるようにスライドさせます。

図2



上になる本体の軒先側は嵌合できるように上から押さえ、釘打ち側は軽く持ち上げておき、一気に軒先側は嵌合させ、釘打ち側は上の本体の折り返し部を下の本体の折り返し部に差し込んでください。

○横暖ルーフS、横暖ルーフプレミアムSの横つなぎは本体釘打ち部の左右隙間が3㎜程度になるように調整して施工してください。



○横暖ルーフαは左右の断熱材を付き合わせてつなぐ設計となっています。本体釘打ち部の左右隙間は4㎜程度になります。

○緩勾配で捨て板を使用する場合は、P243をご確認ください。